

和の光

宝塚市立西谷中学校



心のスイッチをONにしよう

校長 筒井 啓介

新年あけまして、おめでとうございます。今年のお正月は天候も良く、本当に穏やかな年末年始となりました。皆さま、どのように新年を迎えられましたでしょうか。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

ところでよく「一年の計は元旦にあり」といわれます。新年の計画は年初めの元旦にしっかりと立てなさい。何かを始めるときには目標や計画をきちんと立てることが必要ですよ。という意味ですが、この諺の由来は戦国武将の「毛利元就の手紙」に書かれていたという説と中国の「月令広義」という本に書かれていたという説があるそうです。その説の一つ「月令広義」には続いて「一生の計は勤にあり」「一家の計は身にあり」と続くそうです。人の一生はまじめに働くことで決まり、一家の将来は健康で決まるという意味だそうです。「何かを始めるときには早いうちにきちんと計画を立て、健康でまじめに働けば幸せな人生を送ることができますよ。」といったことでしょうか。

西谷中の皆さんは目標・計画は立てましたか？ もし、まだ目標も計画も立てていない人は、元旦が過ぎたからといって遅すぎることはありません。今からでも今年目標・計画を立ててもらいたいと思います。

さて、ここで「心のスイッチ」という詩（但馬出身の教育者 東井義男氏）を紹介します。

「心のスイッチ」 東井 義男

人間の目は ふしぎな目 見ようという心がなかつたら 見ても見えない。
人間の耳は ふしぎな耳 聞こうという心がなかつたら 聞いていても 聞こえない。
おなじように先生の話聞いても ちっとも聞こえていない人がある。
ほんとうにそうだと 腹の底まで聞く人もある。
同じように学校に来ていても ちっともえらくなならない人がある。
毎日ぐんぐんえらくなっていく人もある。
今までみんなから つまらない子だと思われていた子でも
心にスイッチがはいると 急にすばらしい子になる。
心のスイッチが人間をつまらなくもし すばらしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし、暗くもするように。

私たちはたくさんの可能性をもって生まれてきました。音楽家や画家になる可能性、スポーツ選手になる可能性もあります。その可能性から、どんな自分にしていくか、「世界でただ一人の私」を、どんな自分にしていくかは、皆さん次第です。「よしやるぞ！」という心のスイッチを入れて、素晴らしい自分をつくりあげてほしいと思います。スイッチを入れずに、自分の可能性を眠らせてしまっただけではもったいないですね。

では、心のスイッチはどうしたら入るのでしょうか。そのきっかけは何でしょうか。それは人の責任にしないことです。誰かがスイッチを入れるのを待っていてはいけません。自分のスイッチは、自分でしか入れることができません。自分自身が自分をつくっていく責任者なのです。

3学期、西谷中生の皆さんが「心のスイッチ」を入れて、素晴らしい自分をつくっていくことを期待しています。

■新年をお祝いする心遣い～手作り門松・手作りしめ縄～



生徒玄関に飾られた「門松」と「しめ縄」

年末・年始に西谷中にご来校の方はお気付きかと思いますが、生徒玄関前に立派な門松としめ縄が飾られています。実はこの門松は村上先生が竹の切り出しなどを行って手作りして仕上げたものです。しめ縄は、増田先生の手作りです。（1年生が米作りを行い、脱穀作業を行った際の藁を材料として活用しています。）お二人の先生が特技を生かして、西谷中の皆さんに季節の変化を感じることができるようにと、細やかな心遣いをいただきましたこと嬉しく思います。

2026年が西谷中の皆さんにとって素敵な1年になること、3年生の皆さんが希望の進路を実現することを心からお祈りしています。

■3年生は受験シーズン本番です

3年生にとって大事な時期を迎えています。2月には私立高校の一般入試、公立高校の推薦・特色選抜、3月には公立高校の学力検査が行われます。これからは、受験（受検）の出願手続きや面接練習などが本格的に進んでいきます。まさに、これからが正念場です。体調、身なりなどを整え、しっかりと準備をして受験（受検）に臨んで欲しいと思います。

保護者の皆様におかれましても、お子様の精神的な支えとなり、素晴らしい春を迎えていただきたいと願っています。私たち教職員もできる限り力になりたいと思います。心配または、ご不明なことがあれば、遠慮なく担任にご相談ください。

また、1・2年生は新年度で良いスタートが切れるように、授業や朝学習、家庭学習を大切にしてい、基礎学力の定着に努めていきましょう。

■体調管理に気を付けてください

1月に入り、寒さはこれからまだ厳しくなります。3年生は受験（受検）に向けての取り組みが進んでいきますが、健康管理には十分に気を付けてもらい、万全の態勢で入試に臨んでもらいたいと思います。また、夜型の人は朝型に切り替えを進めていきましょう。（入試の時間帯に脳がフル稼働するためには2～3時間かかります。）

1年生は今月末にスキー転地学習が実施されます。しっかりと体調管理を行って、全員が元気に参加できることを願っています。

■「人との繋がり・地域との繋がり」を大切に

西谷中では、学校教育の推進でたくさんの外部講師や保護者・地域の皆様に支えていただき心から感謝を申し上げます。

宝塚自然の家での米作り100人プロジェクト、西谷ちまきづくり、県立西谷の森公園でのさつま芋栽培体験、やっちやえ西谷 Day、ふる里祭り、地域行事における吹奏楽部の演奏、書道パフォーマンスの指導など、ここには書き切れない程の、ご支援をいただきました。そのおかげで、子どもたちは日常の学校生活ではできない多様な学び・深い学びを経験することができました。この学びは子どもたちの人生において必ず活かされる時が来ると信じています。

さて、少し話が変わりますが「全国学力・学習状況調査」（対象は中学3年生）の生活に関する質問に「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という項目があります。「してみたい」「どちらかといえばしてみたい」という積極的な回答割合が国や県に比べてとても高く、子どもたちの西谷地区に対する誇りが感じ取れます。

今年度も残りわずかとなりましたが、「人との繋がり・地域との繋がり」を大切にしながら学校教育を推進していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。



書道パフォーマンスの指導（満福寺 足立有里様）



お米作り100人プロジェクト（一般社団法人 宝塚にしたに里山ラボ様）



西谷ちまきづくり（西谷ちまきづくり保存会様）



お米作り100人プロジェクト（一般社団法人 宝塚にしたに里山ラボ様）



さつま芋の栽培体験（NPO法人 宝塚 NISITANI 様）